

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 10 日 (2020.12.10)

【公表番号】特表 2018-524395 (P2018-524395A)

【公表日】平成 30 年 8 月 30 日 (2018.8.30)

【年通号数】公開・登録公報 2018-033

【出願番号】特願 2018-504787 (P2018-504787)

【国際特許分類】

C 0 7 D 303/14 (2006.01)

C 0 7 D 301/02 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 303/14

C 0 7 D 301/02

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 2 年 10 月 23 日 (2020.10.23)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 4】

前記触媒は混合金属酸化物であり、アルカリ金属およびアルカリ土類金属、並びに、ジルコニウム、ニオブウム、スカンジウム、イットリウム、ランタン、亜鉛、セリウム、およびスズから選択される金属の酸化物の 2 種以上による混合物からなる群から選択され、当該触媒は任意的には、 $\text{SiO}_2$ 、 $\gamma\text{-Al}_2\text{O}_3$ 、 $\text{MgO}$  および  $\text{ZrO}_2$  を介して担持されている、請求項 1 に記載の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0021

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0021】

別な特定の実施例においては、金属酸化物触媒は、アルカリ金属およびアルカリ土類金属、並びに、ジルコニウム、ニオブウム、スカンジウム、イットリウム、ランタン、亜鉛、セリウム、およびスズから選択される金属の酸化物で成る群から選択され、それらは担体無しで使用され、または  $\text{SiO}_2$ 、 $\gamma\text{-Al}_2\text{O}_3$ 、 $\text{MgO}$ 、および  $\text{ZrO}_2$  を介して担持されている、すなわち、オプションで  $\text{SiO}_2$ 、 $\gamma\text{-Al}_2\text{O}_3$ 、 $\text{MgO}$  および  $\text{ZrO}_2$  を介して担持されている。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0022

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0022】

別な特定の実施例では、触媒は混合金属酸化物であり、アルカリ金属およびアルカリ土類金属、並びに、ジルコニウム、ニオブウム、スカンジウム、イットリウム、ランタン、亜鉛、セリウム、およびスズから選択される金属の酸化物のうちの二種以上による混合物で成る群から選択され、それらは担体無しで使用され、または  $\text{SiO}_2$ 、 $\gamma\text{-Al}_2\text{O}_3$ 、 $\text{MgO}$ 、および  $\text{ZrO}_2$  を介して担持されている。